

平成28年度「授業改善プラン」

(学力調査、生徒による授業アンケート等を基に)

教科名 国語

現状分析と課題

(学力調査、生徒による授業アンケート等を基に)

- ・全国学力調査(第3学年)の結果より、東京都、全国の平均正答率に比べすべてに関して下回っている。特に「書くこと」「読むこと」の正答率が低くなっている。作文の練習、文章表現の練習、文章を要約する練習を強化する必要があると思われる。
- ・都の学力調査(第2学年)では、言語に関する問題が最も高い。漢字学習など、日頃の漢字練習の成果が同われる。また週に1回、文法の授業を行っているため、復習を通して言語についての知識が定着している。その一方で、「書く力」「解決する力」が最も低いことが調査結果から分かった。生徒に対するアンケートによると、「自分で調べ学習をする」という生徒が学年全体の9%程度である。

授業改善の重点

- ・「書く」力を伸ばすために、文章を読んだあとに感想を書いたり課題作文を書く訓練をしたりして書く力を伸ばしていく。授業の中で自分の意見を根拠を交えて書けるように指導していく。また、書く内容を整理するために構成メモ等で箇条書きにする習慣を身に付けさせていく。
- ・「読む力」を伸ばすために、要点を的確につかんで、短くまとめる要約作業を多く取り入れていく。
- ・「解決する力」を伸ばしていくために、説明的文章を学習するときは、問題提起に対する答えを出すために筆者はどのような手法で論じるかを推測させながら、内容整理をする学習活動を取り入れていく。さらに、教科書に掲載されていない文章にも慣れさせるため、単元のまとめとして初見の文章読解にも取り組ませていく。

教科名 社会

現状分析と課題

(学力調査、生徒による授業アンケート等を基に)

- ・校内で行った生徒による授業アンケートによると、
 - ①…「社会科が好きである」「社会科が楽しい」という質問項目に対して、肯定的な回答をする非常に生徒が多い。
 - ②…「先生の板書や説明がわかりやすいか」「先生の用意するプリントはわかりやすいか」という質問項目に対しても肯定的に回答する生徒が非常に多い。
- ・東京都の学力調査の結果によると、
 - ③…社会的事象に対して、「解決する力」は東京都平均および江戸川区平均をわずかに上回っている。
 - ④…社会的事象を「読み取る力」が東京都平均および江戸川区平均を下回り、課題が見られる。

授 業 改 善 の 重 点

上記の分析と課題を踏まえ、以下の授業改善を行う

- ①…单元ごとに問題解決学習の時間を設け、社会的事象を「解決する力」を養う。
- ②…語句・用語の暗記に頼らず、様々な資史料を提示することで、社会的事象を「読み取る力」を養う。
- ③…引き続き「社会科が楽しい・好きだ」と感じることができるよう、地元の江戸川を題材にした学習課題を設定し、生徒の関心をより一層高める。
- ④…小テストや、ノート作りを評価することによって「これをやればできる。」という感触を持てる授業を行うとともに、資料の読み取りなど都立高校入試問題に対応できる授業を行う。

教科名 数学

現 状 分 析 と 課 題

(学力調査、生徒による授業アンケート等を基に)

- ・数学に対する関心・意欲は高い。
- ・技能に関してはもう少し定着させる必要がある。
- ・知識・理解を増やす必要がある。
- ・2年生の都の学力調査の結果から、「解決する力」はあるものの、「読み取る力」や「取り出す力」が弱い。

授 業 改 善 の 重 点

上記の課題解決に向けて以下の3点を重点とする。

- ①計算コンテストの問題の精査及び実施回数を通年固定する。
- ②授業での考えさせる機会の提供。発展的な教材の提供。
- ③单元テストや考査を通して、応用力をつけるための解説や復習の徹底。

教科名 理科

現状分析と課題

(学力調査、生徒による授業アンケート等を基に)

2年生の都学力調査によると、生徒の理科に対する興味関心は都の平均を上回っており、また生徒による授業アンケートからは8割強の生徒が理科を楽しく学んでいる。しかし、その一方で都学力調査では「思考・判断・表現」や「問題を読み解く力」が都の平均を下回っており、必ずしも理科の学習内容が定着しているとは言えない状況である。

生徒の理科に対する興味関心を学習内容の定着に繋げていくことが課題である。

授業改善の重点

理科への興味関心が高いことを生かし、授業だけではなく、自ら進んで学習に取り組む姿勢を養うことが大切である。以下は、そのための授業改善の重点である。

- ①確認テストなどの復習機会を増やし、それに向けた家庭学習の習慣をつける。
- ②実験の時間を十分に確保することによって、座学とのメリハリをつけるだけでなく、「思考・判断・表現」力を養う。

教科名 英語

現状分析と課題

(学力調査、生徒による授業アンケート等を基に)

生徒による授業アンケートの結果から分析すると、大多数の生徒が授業に集中して取り組み、教員の説明にきちんと耳を傾けているようだが、ノートまとめなどの課題提出の悪い生徒が各クラス数名いるなど、全体的に家庭学習が定着していない傾向が見られる。都の学力調査では基本事項はかなり定着しているが、発展問題に対する正答率が低い。その場限りの知識理解になることなく、家庭学習を大切にし、予習・復習を習慣化される必要がある。

授業改善の重点

家庭学習を定着させるべく、毎時間適量の課題を出していく。また課題提出を促し、提出できない生徒に対する声掛けや家庭への連絡を行っていく。また、基本事項の徹底に加え、応用力が身に付くような教材を作成し、授業内で使用していく。